

新潟都心地域整備方針(素案)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
新潟都心地域	<p>[都市再生緊急整備地域]</p> <p>河川、田園、里山など水とみどりに恵まれ環日本海の開港都市として栄え、港湾空港、高速交通など広域交通ネットワークを活かし、大規模災害時では拠点都市としての役割を経験するなど拠点性を高めながら、継続的に国土強靱化における足元の安全安心の強化や、日本海国土軸としての更なる拠点性の向上を目指すとともに、食や自然、文化の魅力を発揮し、人や環境にやさしく移動が円滑に行えるまちづくりと多様な交流による活性化を目指す。</p> <p>都心において老朽化する施設や建築物の更新や高性能・高機能といった質の高い都市開発を誘導、促進し、環境に配慮しながら都市の安全性を向上し魅力的な雇用の場を創出</p> <p>食と農業やバイオテクノロジーなど本市の特徴を活かした新たな産業や Society5.0 の実現に向けたイノベーションを促進し、ICTなどを活用する開発や研究拠点を形成</p> <p>みなとまちで育まれた歴史文化や豊かなみどりや水辺空間を活かし、誰もが移動しやすい交通環境に取り組みながら、人が元気に賑わい交流する都市空間の充実と形成</p>	<p>○日本海国土軸の拠点都市にふさわしい高次な業務機能を誘導するとともに、災害時の一時避難や津波避難、備蓄倉庫など、都市防災の機能も備えた高機能なオフィスビル等の整備を促進</p> <p>○建築物の更新に併せ、業務、商業、居住など、都市機能を高め、賑わいを創出する多様な用途を誘導すると共に、緑地などのオープンスペースの創出を促進し、潤いがあふれ、歩いて楽しい都市空間の形成を推進</p> <p>○国内外の企業との連携により、食と農の分野の成長産業化を促進し、6次産業化や農商工連携を進めるとともに、ICTやドローン、AIなど革新的技術を活用し、生産性の向上や関連企業の集積を図る。</p> <p>○大学や専門学校等高等教育機関や国内外との企業との連携により、多様な産業分野において、AI、IoTなど Society5.0 の革新的技術を実装するなど新たな産業を支えるビジネス環境を強化</p> <p>○航空機産業の集積をさらに促進し、既存の製造業との連携強化を図りながら成長ものづくり分野の拡大を推進</p> <p>○国内外からの来訪者の多様な活動や交流を支えるスマートシティを推進し、MaaSや5Gの導入による文化・観光・エンターテインメントの情報発信機能の充実と回遊性の向上を図り、商業との連携、MICE誘致等の強化と合わせ、時間消費型・体験型の都市機能を強化</p> <p>○ハイレベルコンベンションの誘致強化に向け、高規格な宿泊機能の強化</p>	<p>○新潟駅周辺における鉄道在来線の高架化や、立体交差道路、万代広場、駅直下バスターミナル（高架下交通広場）の整備</p> <p>○回遊性が高くウォーカブルな市街地の形成に向け、都市の緑化と道路断面の再構成を進めると共に、賑わい創出に向けた多様な利活用を促進</p> <p>○新潟駅南口周辺地区において、中・長距離バスターミナルを整備し、広域交通結節点の機能を強化するとともに、災害時の一時避難施設や交流、文化、商業の複合施設との一体整備により高次の賑わいを創出</p> <p>○みなとまち新潟の水辺を活かしたまちづくりを推進するため、信濃川やすらぎ堤と周辺開発を結ぶ歩行者動線の整備を促進し、萬代橋周辺を中心とした回遊性の向上とさらなる賑わいを創出</p> <p>○基幹公共交通軸の利便性向上に向け、バス交通を強化</p>	<p>○ウォーカブルシティの実現に向け、アイレベルでの賑わいや楽しさ、心地よさを演出する用途や使い方を誘導</p> <p>○建築物の更新と公共空間の整備に合わせ、新潟駅周辺、万代、萬代橋周辺、古町など、各地区の個性に合わせた都市景観の誘導を促進</p> <p>○環日本海の交流拠点として、新潟駅南口周辺地区や万代地区の低未利用地の高度利用を推進し、かつ万代島地区の開発との相乗効果を図り、まちの更なる賑わいを創出</p> <p>○「みなとまち」にふさわしい水辺空間整備と活力を生み出す土地利用を推進すると共に、エリアマネジメントなど民間活力の導入によるさらなる賑わいを演出</p> <p>○都市防災力の向上を推進するとともに、首都直下地震を念頭にした救援・代替機能を強化し、合わせて企業のリスク分散として地方拠点の誘致を強化</p> <p>○大規模災害や感染症の蔓延に備えた企業のリスク分散の観点からも選ばれる、安全・安心で新たな生活様式に対応した快適な都市環境の構築を推進</p> <p>○低炭素社会の創造に向けて、スマートエネルギーシティの構築を推進し、地域の特性を生かした再生可能エネルギーや未利用エネルギーの活用を促進するなど、環境に配慮した次世代型の都市を構築</p>